



第86号

2024
Apr.

あした 明るい未来のために もっと明日へ
社会福祉法人 **上天草会**

〒861-6305 熊本県天草市栖本町湯船原661番地

発行 養護老人ホーム (外部サービス利用型特定施設) 特別養護老人ホーム 地域密着型特別養護老人ホーム デイサービスセンター ショートステイ ヘルパーステーション 居宅介護支援事業所



梅寿荘 TEL.0969-66-2132 FAX.0969-66-2221
ホームページアドレス <http://www.baijuso.sakura.ne.jp/>
Eメール: baijuso@cello.ocn.ne.jp

編集 梅寿荘職員



ひな祭り



みんなでひな祭りを歌いましょう!

特別養護老人ホーム
3月3日にひな祭りを開催しました。「うれしいひなまつり」を利用者の皆様と一緒に手拍子をしながら歌いました。楽しそうに歌っていただいたので良かったです。
昼食にはちらし寿司やフルーツ(パイナップル、黄桃)が出ました。食事を配る時に今日はひな祭りという特別な日だからちらし寿司が出てきたよと説明したところ、「嬉しいかな」と喜ばれました。お



私も素敵にハイチーズ

デイサービスセンター

3月には、女性の利用者を

やつの時間にはチョコレートケーキを、飲み物はお茶かコーヒー牛乳を提供しました。「甘くて美味しい」「これ好きっちゃん」と言っていて幸せそうに食べておられました。
これからも、感染対策を行いつつ、いながらも少しでも利用者の方に季節を感じていただけるような活動を考えていきたいと思えます。



楽しいひな祭り

中心にお雛様と写真撮影会を実施。雛人形を目にするとそれぞれに「可愛かね」「懐かしかね」と、うっとりした表情で人形を眺められ、気分はお雛様といった和やかな表情で記念撮影をされました。
今年度に入り感染症対策の緩和に伴って、ご利用者の皆様の素敵な笑顔が拝見できる行事が多く実施できて嬉しく思っております。今後も、利用者と一緒に楽しく、笑顔の絶えないデイサービスでありたいと思えます。



養護老人ホーム



どこを狙いますか？

2月2日、節分の豆まきを行いました。利用者は、鬼に扮した職員にめがけて力いっぱい、落花生やお菓子を「こぞとばかりに投げつけられていました。ホールには「鬼は外、福は内」と、ご利用者の元気な声と笑い声が響いていました。大声を出して豆を投げる行為はストレス発散になられたことでしょうか。利用者から「楽しかった」とのお声をいただきました。陽気な利用者がいらっしやり、自ら鬼のお面を被つてくださった方もいらっしやいました。

花生やお菓子を召し上がりながら「歳の数の豆を食べるのは難しかばい」と冗談を仰っていました。今年も元気な声で邪気を追い払ったので、きつと皆様が健康で穏やかに過ごせることを願っています。



鬼は外！ 福は内！



年の分は食べられない!?

特別養護老人ホーム



よく狙って…「鬼は外！」

2月4日に節分を開催しました。今年は豆の代わりにボールを使いました。職員が鬼役で利用者の方々がボールを投げて鬼へ当てたり、段ボールで作った鬼の口の中に入れるゲームを行いました。「やっつけろー」「えーい」と利用者の皆さんは笑顔で楽しそうに参加されていたの

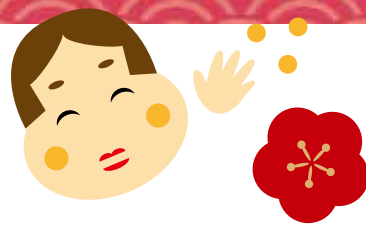


さあ、当てることができますか？

で良かったです。

今年も無事に節分を開催することが出来て嬉しく思います。来年も利用者の方々に楽しんでいただけるようなイベントを開催していきたいです。





節分

地域密着型特別養護老人ホーム

2月3日はで節分会を行いました。今年は職員のコロナウイルス感染等により例年通りの開催とはいきませんでした。お茶会というかたちでユニットごとにて行いました。お菓子やパン、ジュースを準備してさまざまなお菓子の中からおひとりおひとりに選んでいただきました。皆さん甘いものが好まれるようで、ケーキやチョコレートなどを喜んで召し上がっておられました。

昨年はコロナウイルスの影響により事業所内での感染等で当初予定していた行事が予定通りにいかないことも多い1年でした。コロナウイルスが少しでも早く収まることを願うと同時に、来年度は昨年以上にご入居者が喜んでいただけ

るような行事を計画し、皆様の楽しみを増やすことができたと思います。



鬼は外
福は内

あまくて、おいしかなー



みんなで作った赤鬼と一緒に

デイサービスセンターでは、利用者の皆様に四季折々の行事を通じた活動を楽しんでいただいております。

節分行事では創作活動の一端で利用者と職員共同で赤鬼を制作しました。2月2日の節分会には、台車に乗った巨大赤鬼の登場に驚いた様子の利用者でしたが、豆まきならぬ、ボール投げで思い思いに鬼を撃退していただき、今回も大盛況となりました。

デイサービスセンター



年頭式

養護老人ホーム



理事長 新年のあいさつ



おめかしして集合写真♪

1月1日、新年を迎えて養護では年頭式を行いました。まず初めにお屠蘇をいただき、利用者代表の挨拶、職員の今年の抱負を発表し、集合写真の撮影をしました。年頭式はつつがなく進み、無事に新年のスタートを切ることができました。昼食には、色鮮やかなおせち料理を召し上げられ、それぞれゆつくりとした時間を過ごされました。

今年は、元日から石川県能登半島沖地震が発生し、暗い始まりとなりました。自宅でくつろぎながらテレビで速報のニュースを観て驚かれた方も多かったのではないのでしょうか。梅寿荘でも有事に備えて訓練や準備を怠ることなく、日ごろから準備しておく必要があると感じた1日となりました。

地域密着型特別養護老人ホーム

ユニットでは元旦に年頭式を行いました。年始めの行事ということで、皆さん着用される洋服を前々から選び準備され、当日はきつちりとした服装で着飾って参加されました。初めに施設長からの年頭のあいさつがあり、職員もひとりひとり挨拶をさせていただきますました。入居者からも代表の方に挨拶をいただきましたが、緊張されながらも挨拶文をしっかりと読みあげられています。式典の最後には皆さんお屠蘇を召し上げられました。

昼食にはおせち料理が提供されました。綺麗に盛り付けされた普段とはまた違った行事ならではの食事に「わあ、綺麗ね」「美味しいね」と喜ばれていました。

今年が入院がなく入居者15名全員で新年を迎えることができました。今年も皆さんと一緒に元気に楽しく1年を過ごせるよう職員一丸となり頑張っていきたいと思います。



施設長 新年のあいさつ



全員集合です

居宅介護支援事業所廃止のお知らせ

この度、3月末をもちまして梅寿荘の居宅介護支援事業所が廃止されることとなりました。私がケアマネージャーとして仕事をさせていただいて、通算22年になります。この22年間で沢山の方（ご利用者・ご家族）との出会いがありました。自宅で生活をしていくための困りごとや悩み等をお聞きしながら、その方の状況に合わせて、一番いい形で支援ができた時、利用者様やご家族に喜んでいただいた時は、私も自分のことのように嬉しく、やりがいを感じる瞬間でありました。今回事業所の廃止に伴い涙していただく方もあり、本当に心苦しく、申し訳ない気持ちではありますが、これまでお一人お一人の人生に関わらせていただけたことに、感謝しかありません。ありがとうございました。

梅寿荘居宅介護支援事業所 管理者 坂本 久美